

**週刊メール情報
厳選・中国ビジネス**

中国最大級のプロ集団「土業・net」による日系企業支援

「土業・net」メールマガジン

内田総研・Group (投資顧問・会計服務・ネットワーク)

●中国税務・法務・会計支援 ●日本企業の中国進出支援 ●日本商品の中国での販売支援 ●中国医療ビジネス支援 ●ネット販売支援

アリババ 11 日の取引額、350 億元に 「独身の日」、天猫は開始 55 秒で 1 億元突破

■ アリババ 11 日の取引額、350 億元に

中国の電子商取引最大手、アリババ集団(浙江省)は、11 日の同社のネット通販サイトの取引額が 350 億元を突破したと発表した。

中国では近年、ネット通販各社が「11 月 11 日」に値引きを競う商戦が過熱しているが、アリババの取引額も急膨張し、1 日の取引額としても昨年の同日を抜いて過去最高を記録、中国の個人消費の底堅さも示した。

11 月 11 日の「独身の日」

中国は 11 月 11 日を「光棍節」と呼び、「1」が並ぶことから独り者の日として知られており、中国のネット通販市場で約 8 割のシェアを持つアリババは 2009 年から、この日だけの大規模セールを開始している。他のネット通販業者も続々と追随し、独身者に限らずネット通販をこの日に楽しむ習慣が定着した。今年も、アリババ傘下のネット通販サイト「天猫」と「淘宝网」が 11 日午前 0 時から大規模なバーゲンセールを開始し、出店者は目玉商品を大幅に値引きして、顧客獲得を競い合った。

12 日午前 0 時までの 24 時間の取引額は 350 億 1900 万元となり、前年同日の 1.8 倍に達した。

中国メディアによると 350 億元は、百貨店やスーパーなどが中心の中国で、10 月の 1 日当たり小売売上高総額の 5 割に相当する。

2 割がスマホからの注文

ネット消費をけん引するのが、スマートフォン(スマホ)などを使った取引だ。アリババの 11 日の取引件数 1 億 8800 万件のうち 2 割超が携帯からで、この比率は昨年の 5% から大幅に上昇した。

取引額も 100 億元を超えたが、中国の調査会社アイ・リサーチによると、昨年のネット通販市場は 1 兆 3 千億元と 1 兆元台を突破した。これが 2016 年には 3 兆 6 千億元規模まで膨らむと予測している。

中国の小売売上高に占めるネット通販比率も、12 年の約 6% から 16 年には 10% 超に達するとみられ、ネット消費は中国の小売動向を占う指標になりつつある。

■ 天猫、開始 55 秒で売上 1 億元突破

アリババ・グループによると、11 月 11 日 0 時 0 分、B2C 「天猫」の「独身の日」激安セールの開始から 55 秒後、同社の決済サービス「支付宝」による取引額が 1 億元を、6 分 7 秒後に 10 億元を突破し、香港の 9 月の 1 日あたり社会小売総額を上回った。

さらに 13 分 22 秒後には、取引額が 20 億元を突破した。アリババ・グループの馬雲(ジャック・マー)常勤会長は、B2B 「タオバオ」と天猫の、今年の独身の日における売上が 300 億元を突破すると予想、これに備え、EC サイト・店舗・宅配業者は早くから準備を整えていた。

天猫によるとこの日、オンライン・オフラインの境界線を取り払い、ハイアールなどの 300 以上のブランドのオフラインの 3 万店舗が、天猫の激安セールに参加した。これらの店舗は全国 300 余りの都市、1000 余りの県を網羅しており、全国の市・県の約半数を占めている。モバイルネット通販市場の争奪も、今年の新たな注目点となっており、微信(WeChat、中国版 LINE)も初めて、EC サイトとの提携を深化させた。

■ 天猫、10 時間で 50 万缶のミルク完売

アリババのワイヤレス事業部のデータによると、激安セール開始からわずか 1 時間で、1400 万人超のユーザーが携帯電話によりショッピングをし、その決済額が 10 億元を上回った。この金額は昨年の 9 億 6000 万元という 1 日の決済額をも上回るものだ。

支付宝は 11 日に携帯電話での決済を 4518 万件処理し、決済額は 113 億元に達し世界最高記録を樹立した。11 日 10 時 30 分までに、天猫と B2B サイト「タオバオ」の粉ミルク販売量は 50 万缶を突破し、決済額が 1 億元を上回った。これは全国の生後 2 カ月の新生児の 1 週間分に相当するという。

11 日 24 時まで、支付宝で決済を完了した金融商品の決済額は 9 億 800 万元に達した。タオバオのファンド販売店は 11 日 0 時より取引を開始し、1 分間のみで決済額が 1000 万元を突破し、1 時 26 分の時点で 5000 万元を突破したという。



中国最大級のプロ集団「土業・net」による日系企業支援
「土業・net」メールマガジン
内田総研・Group (投資顧問・会計サービス・ネットワーク)

●中国税務・法務・会計支援 ●日本企業の中国進出支援 ●日本商品の中国での販売支援 ●中国医療ビジネス支援 ●ネット販売支援

■ 中国の新車販売、初の 2000 万台超

中国の年間の新車販売台数が初めて 2000 万台の
大台を超えることが確実にになった。

上海などの沿岸部に加え、内陸部にも新車需要が広
がっているため、世界の新車販売のほぼ4分の1が
中国に集中した。自動車大手は「中国シフト」を加速さ
せ、日本勢も巨大市場での巻き返しに動いている。

中国の新車販売台数

中国汽車工業協会が 11 日まとめた 10 月の新車販
売台数は前年比で 20.3%増の 193 万 2600 台となった。
1～10 月の累計は 1781 万 5800 台となり、このペース
が続けば 2013 年通年では 2100 万台前後に達し、12
年の 1930 万台を上回り、過去最高を更新するという。
世界の新車販売台数は 13 年通年で 8000 万台を超え
る見込みで、中国の新車市場の規模は米国の約 1.4
倍、日本の約4倍になるとみられている。

中国の新車市場を引っ張っているのは内陸部で、これ
までは上海や広州といった沿岸部の消費者が主な購
入層だったが、都市化が進む内陸部でも新車需要が
拡大している。

中国の自動車保有台数は 12 年に 1 億 2000 万台を超え
ており、米国の約 2 億 5000 万台には及ばないが、日本
の約 7900 万台は上回っている。それでも中国の人口
に占める自動車の保有割合は 1 割未満。日米欧の普
及率が 6～8 割であることを考えれば伸びしろは大き
く、3000 万台市場に成長するとみられている。

日本勢の巻き返し

成長を続ける巨大市場を狙って、世界の自動車大
手は攻勢をかけている。

ドイツのフォルクスワーゲン(VW)は 8 月、新疆ウイ
グル自治区の新工場を稼働し、セダン「サンタナ」の生
産を始めた。中国内陸部を中心に 15 年までに 98 億ユー
ロ(1 兆 3000 億円)を投資する計画だ。

米ゼネラル・モーターズ(GM)も中国内陸部で工場の
増設に動いている。

沖縄県・尖閣諸島を巡る反日デモの影響で一時は中
国でのシェアが 1 割を切った日本勢も、中国向けの新
型車投入で巻き返しに動いている。

その結果、先月 10 月には反日デモが起きる直前の 12
年 8 月(18.6%)の水準に迫るまで中国シェアを回復し
ている。

■ 中国、実在企業が 1483 万 7400 社に

国家工商行政管理総局によると、今年 10 月末現在、
全国の実在企業は 1483 万 7400 社に上り、登録資本金
は 94 兆 100 億円で、同 1.09%の増加だった。

中国では市場主体の数が緩やかに増加し、安定的に発
展しているが、中でも東部と西部で企業の増加ペースが
速く、中部の企業の占める割合が低下を続けている。
産業の発展状況をみると、実在企業における第一次産
業と第三次産業の割合が継続的に上昇した。

産業別にみると、10 月末現在、第一次産業の実在企
業数は 40 万 9500 社で同 2.10%増加し、企業総数に占め
る割合は 2.76%で同 0.03%増加した。

第二次産業は 373 万 9200 社で同 0.70%増加、25.20%
で同 0.07%減少。第三次産業は 1068 万 8600 社で同
1.04%増加、72.04%で同 0.04%増加している。

■ 三菱商事、中国で病院の資材調達

三菱商事は注射器など医療器具の調達や在庫管理
を受託する病院向け事業を中国で開始した。

中国政府系の医薬品卸最大手と合併会社を上海市に
設立し、日本で培った在庫管理のノウハウを導入して、
先進国に比べ改善余地の大きい病院経営の効率化を
支援するという。順次、北京、天津など中国各地にも事
業を広げ、5 年後に中国の医療器具市場で 10%のシェ
ア獲得を目指す。

三菱商事は中国政府系で医薬品卸最大手の国薬グル
ープと医療器具・材料の調達、管理業務を手掛ける合
弁会社「国薬菱商」を設立し、営業を開始した。

資本金は 13 億円で国薬が 60%、三菱商事が 40%を出
資した。三菱商事は国内 200 の病院向けに医療材料を
一元管理する子会社エム・シー・ヘルスケア(東京・港)
のノウハウを合併会社に移植する。

病院で使う器具・材料はカテーテル、透析用器具、衛生
材料など合計 10 万点規模にのぼる。

中国は流通構造が複雑で 200 社を超す販売会社が日
常的に出入りする病院も多い。病院側は発注業務が煩
雑なうえ、仕入れ価格が適正かどうか不透明な問題も
あった。

合併会社は顧客となる病院から器具類の調達や在庫管
理業務を一括で請け負い、エム・シー社が持つ品番管
理のノウハウや、受発注システムを病院に導入するとい
う。

**（株）日本M&Aセンター（東証1部上場企業）と提携し、
「内田総研・北京M&Aセンター」をオープンしました。**

内田総研・Group は、新たな時代の中国ビジネスをサポートするため、
（株）日本M&Aセンター（東証1部上場）と提携し、「北京M&Aセンター」を
内田総研のオフィス内にオープンしました。

日本企業の中国ビジネスをグローバルに成功させるため、中国企業との
戦略的M&Aを積極的にサポートしています。

- 1 ・戦略的な中国進出支援
- 2 ・戦略的な中国展開支援
- 3 ・戦略的なM&A展開支援
- 4 ・レンタルオフィスでリスク軽減
- 5 ・イベント会場での代理店募集
- 6 ・セミナー会場での販売促進
- 7 ・低価格での現地法人設立
- 8 ・戦略的税務・法務・会計支援
- 9 ・有利な撤退・戦略的M&A

内田総研・北京M&Aセンター



龍頭大廈



ホテルフロント



オフィス



オフィス・ロビー



セミナー会場



会議室

「士業・net」によるワンストップサービス

日本企業の中国進出支援

- 中国での会社設立、中国事業支援
- 中国での税務・法務・会計支援
- 特許権・商標権の取得、上場支援等

税務・法務・会計

- 税務・会計顧問、記帳代行
- 税務トラブルの解決処理
- 法務トラブルの解決処理

健康食品等の「セミナー販売」

- 中国全土での健康セミナー販売支援
- 全国に「老人大学」での販売支援
- 各地の病院と提携しての全国販売支援

フランチャイズ展開支援

- 中国での商業特許経営許可取得申請
- フランチャイズに関する経営戦略の構築
- 中国での販売、ブランド戦略の構築

M&Aセンター

- 中日韓企業のM&A支援
- 戦略的M&Aの構築支援
- 撤退M&Aの構築支援

中国での「医療ビジネス」支援

- 日本医療機関の中国での事業展開支援
- 日中医療機関の事業提携支援
- 日本へのメディカルツーリズム事業

株式公開コンサルティング

- 上場計画の立案、上場コンサルティング
- 企業診断、経営改善コンサルティング
- 上場を実現するための企業成長支援

ネット販売・受注代行

- 国際決済可能なネット販売
- 中国での受注代行サービス
- セミナー販売との並行可

中国での「環境・省エネ事業」

- 日本環境技術の中国での事業展開支援
- 日本省エネ技術の中国での事業展開支援
- 日本企業の中国でのM&A構築支援

税務師・弁護士・会計師等、中国最大級のプロ集団「士業・net」によるワンストップサービス



内田総研・Group

(www.uchida-chinatax.com)

北京事務所：北京市朝陽区南新園西路8号 龍頭大廈北棟2F
東京事務所：東京都足立区栗原4-6-11（内田会計事務所）

TEL (10)8735-9091
TEL (03)3898-1422

FAX (10)8735-9093
FAX (03)3898-1431